

第7回総務産業常任委員会 概要報告

年 月 日	令和7年11月14日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、山崎真由美、遠藤隆男、川村幸栄、清水一夫、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	水間健詞				

審査及び報告事項

【1】建設水道部所管事業について

1) 名寄市都市公園条例の一部改正について

センターハウスまたはコテージに宿泊する場合、利用料金のほかに1人1泊につき北海道宿泊税条例に基づく宿泊税を徴収

2) 森の休暇村 利用料金の改定について

センターハウス 1泊 26,400円(現行22,000円)

コテージ 1泊 16,500円(現行13,200円)

カーサイト 1泊 3,960円(現行3,300円)

デイキャンプ 1,980円(現行1,650円)

3) 令和7年度道路除排雪実施計画について

車道除雪延長 436.9km (名寄281.7km・風連155.2km)

歩道除雪延長 61.4km (名寄40.0km・風連21.4km)

重要幹線道路排雪延長 23.8km (名寄20.7km・風連3.1km)

幹線道路排雪延長 20.3km (名寄19.6km・風連0.7km)

生活道路排雪延長 105.2km (名寄91.9km・風連13.3km)

*各種助成等

排雪ダンプ助成、市道および私道除排雪助成、除排雪担い手育成確保事業

4) 第4回定例会建設水道部上下水道室主な補正予算概要について

① 水道事業債務負担行為の追加1件

② 下水道事業債務負担行為の追加2件

5) その他

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 浄水場改修についての進捗状況は。

A. 昨年度から2ヶ年計画の電気設備の改修を行っており今設置作業に入っている。今年度の事業はおおむね順調である。

【2】経済部所管事業について

1) 令和7年産農産物出荷状況について

うるち米の反収は4.9(前年比89%)、もち米の反収は10.0(前年比91%)

JA 計画反収はうるち米が 5.0、もち米が 9.5 であることから平年並といえる。
反収が前年比 100%を超えた農作物
食用馬鈴薯、グリーンアスパラ（露地）、食用南瓜、花卉

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. グリーンアスパラ（露地）が増加した要因は。

A. 単純に昨年が悪かったため今年が伸びた。苗提供の効果が出てくるのは来年度くらいから少しずつということである。

2) 名寄市ピヤシリスキー場リフト料金の改定について

指定管理者である名寄振興公社からの協議の申し出を受け改定。

リフト利用料金は値上げとなるが、ツリーコース 1 本を新設し利用者の満足度向上につないでいく。

3) 第 4 回定例会提案予定の議案について

名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について

名寄市ふうれん望湖台自然公園条例の一部改正について

4) 第 4 回定例会経済部主な補正予算概要について

土地改良区決済金等支援事業 18,598,000 円

農地利用効率化等支援事業 12,060,000 円

新基本計画実装・農業構造転換支援事業 78,720,000 円

世代交代円滑化事業 3,363,000 円

【3】総合政策部所管事業について

1) 総合政策課

① 総合計画の策定・進捗について

11 月 10 日「第 1 回市民ワークショップ」を開催し、総合計画・総合戦略の概要や市の現状を確認。第 2 回は 11 月 25 日、第 3 回は 12 月 8 日を予定。

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 市民ワークショップの参加対象者が 70 歳未満で年齢を区切られている理由は。

また、まちづくりアンケートへの回答方法が QR コードとなっている。以前は広報にアンケート用紙が挟まっていたと思うが、どのように判断されているのか。

A. ワークショップでは若い人に来ていただきたいという思いがあった。ワークショップは夜間の開催となるため年齢を区切ることになった。各種委員の任免に関する要綱に沿って 70 歳を区切りとさせていただいた。

アンケートの回答方法については、回答用紙を公共施設に置いているのでその用紙を使っ
ての回答も可能である。名寄市では高齢者の Web での調査解答率が高い傾向にあるため、
今回ポイントをつける中で Web 回答を選択した。

Q. 若い方々の声は大切であるが、長く人生を経験してきている世代の知恵も大事でたくさん
の思いもお持ちである。どのように反映させていこうとしているのか。

A. アンケート調査が声を出していただく機会と捉えている。アンケート用紙を求める連絡が
あれば届けるので活用いただきたい。

Q. 市民ワークショップ参加者の年代は。

A. 市の職員（係長職 8 名、係職 8 名）も参加しており、20 代・30 代が多い。一般公募には
10 名の応募があった。

② ゼロカーボンの推進について

「名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会」においてロゴマークデザインを公募、38 作品の応募があった。最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点を選考した。

③ 名寄市物流拠点化構想について

「第 1 回北・北海道物流拠点検討協議会」8 月 31 日書面会議開催

「第 2 回北・北海道物流拠点検討協議会」10 月 24 日対面会議開催

2) 地域課題担当

① 公共交通について

令和 7 年 12 月 31 日、コミュニティバスを廃止、「のるーと名寄」に集約する。

それに伴い、「のるーと名寄」の運行時間と運行日を拡大する実証運行を行う。

実証運行の期間・・・令和 8 年 1 月 5 日（月）～5 月 30 日（土）

運行時間の拡大・・・7:00～17:00 → 7:00～18:00

運行日・・・平日 → 平日＋土曜日 9:00～13:00

「のるーと名寄」乗降場所の移設（19 ヶ所）・新設（4 ヶ所）

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 市民の「足」であるコミバスの廃止に不安を感じている人が多い。どのような考え方でいるのか。

A. 「地域公共交通活性化協議会」でコミバス廃止、「のるーと名寄」への移行が確認されてきた。「のるーと名寄」運行事業者との調整に時間がかかったが、名寄市の持続可能な公共交通について考えた結果である。定時定路線の考え方からデマンドへの変更時期がきていると判断している。

意見 状況や経緯を丁寧に市民に説明する必要がある。

Q. 町内会へ乗降場所を周知するチラシは大きく分かりやすいものにできるか。

A. A3 版にする。

② 町内会連合会創立 50 周年記念式典について

令和 7 年 11 月 8 日（土）、記念式典開催

3) 交流推進課

① にほんごひろばについて

交流型日本語教室（9 月 13 日、27 日、10 月 18 日）

② 日本語教室について

日本語能力試験 N3 レベル合格を目指す学習型教室（毎週月曜日に開催）

③ 地域おこし協力隊（外国人支援）の採用について

令和 7 年 12 月 1 日付け採用 桜井 千代子氏

④ 名寄・藤島交流友の会事業について

「つるおか大産業まつり 2025」において名寄市特産品を販売

⑤ 都市交流事業について

「すぎなみフェスタ 2025」において、名寄市特産品を販売

⑥ 台湾派遣事業について

高校生台湾派遣事業 令和 7 年 10 月 19 日（日）～25 日（土）

交流先 嘉科実験高校・文山高校・鳳新高校・雙溪高校・国立中山大学

中学生台湾派遣事業 令和 8 年 1 月 8 日（木）～11 日（日）

交流先 台北市立中山国民中学

⑦ ネパール訪問について

令和 7 年 11 月 17 日（月）～25 日（火）

4) スポーツ・合宿推進課

- ① 指定管理者候補者選定委員会における選定者について
名寄市スポーツ施設・・・一般財団法人「Nスポーツコミッションなよろ」
名寄ピヤシリスキー場、体育センターピヤシリ・フォレスト、名寄ピヤシリシャンツェ
・・・株式会社名寄振興公社

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 風連地区のスポーツ施設も指定管理ということで、利用の仕方等について今後の変更点は。

A. 窓口が変わることになるので、決定次第ホームページと広報で周知する。

- ② スポーツ合宿推進事業について
- ・ 令和 7 年度全国高等学校総合大会第 75 回全国高等学校スキー大会
 - ・ 第 99 回全日本学生スキー選手権大会
 - ・ JOC ジュニアオリンピックカップ 2026 全日本ジュニアスキー選手権大会兼全国中学生選抜スキー大会
- ③ N スポーツコミッションなよろ役員・職員体制について
- | | | |
|-------|---------|------------------|
| 事務局職員 | 事務局長 | 名寄市職員派遣（10/1） |
| | 広報・営業人材 | 地域おこし協力隊採用（7/14） |
| | トレーナー人材 | 名寄市職員派遣（10/1） |
| | | 地域おこし協力隊（11/10） |

5) 大学法人化準備室

- ① 公立大学法人制度説明会アンケート集計結果について
名寄市立大学教職員（会計年度任用職員を除く）を対象に、10月14日（火）から10月24（金）の期間、アンケート調査を実施。
結果、公立大学法人説明会へ不参加だった方にも資料が行き渡り、確認されていることが分かった。
- ② 名寄市立大学法人移行推進委員会設置要綱
- ③ 法人移行推進体制について
- ④ 法人化移行までの業務スケジュール
令和9年4月の公立大学法人登記・設立を目指す。
文部科学省の設置者変更認可プロセスが一部変更になったことから、スケジュールの見直し・変更もありうる。

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. スケジュールの3ヶ月前倒しもありうるとのことであるが大変ではないか。

A. 鋭意進めていく。

【４】総務部所管事業について

報告事項について

- ア) 令和7年度名寄市防災訓練（避難所への避難）について

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 防災訓練を行なった結果、改善すべき点は

A. 避難所が遠かった、もっと多くの避難所を開けて欲しかった、などが挙げられる。

2) 財政課

ア) 会計検査院実地検査による特別交付税過大交付の指摘について

名寄市が報告した令和5年度「デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)」は特別交付税の対象外事業であるとして指摘を受け、過大交付された5,443万3,000円は令和7年度の特別交付税算定で減額される。

イ) 令和8年度予算編成について

基本的考え

- ・「総合計画」や「総合戦略」の具現化に取り組むこと
- ・徹底的な行財政改革に努めること
- ・集中的重点事項を捉えた予算編成に努めること

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q. 特別交付税過大交付に関わって、今後名寄市の事業が変わるのか。

A. 名寄市の事業内容自体が変わるものではない。

その他

ア) 条例改正案件

- ・名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正について
- ・名寄市手数料徴収条例の一部改正について

イ) 指定管理者の指定について

報告者 総務産業常任委員会副委員長 山崎 真由美